

事業名

京極防災フェスティバル

実施団体

京極住民福祉連合会

近年の自然災害の影響力増大を受け、①デジタル版防災マップ、②京極文化祭、③防災訓練を通して、より一層の地域交流・世代間交流の場を設けつつ、子供から高齢者まで幅広い年代の方々に防災意識を高めてもらい、町全体での防災力向上を目指した。

①防災マップ



←消火器等の場所はもちろん、避難所や公衆トイレ、防災器具庫の場所にはピン止めがしてある。

ピンをクリックすれば写真で場所が確認でき、避難可能人数やホームページなど、様々な情報にアクセスが可能。→

※災害時に何がどこにあるかが瞬時に判断できる上、QRコードを共有すればいつでもだれでも最新情報を入れ込むことができるため、紙の地図とは違い簡単に更新が可能。



②京極文化祭



避難食への偏見をなくすため、実際に防災訓練にて配布→

防災グッズや普段の備え方など、ポスターで掲示した実際に防災グッズづくり体験などをしてもらった。
←



←子供たちに対しては防災カードゲームで楽しみながら防災について学習してもらった。

火やガスを使用せず、水だけでできる避難食を2種紹介。参加者からはためになったと非常に好評だった。
→



3つの軸で進めてきた京極防災フェスティバルだったが、なによりも体験型を重視したことで例年よりも防災訓練の参加者も増え、満足度も高かったため、狙いであった「幅広い世代ひとり一人の防災意識を高める」ことは達成できたと感じる。今後は防災マップの更なる活用法を模索し、持続的に活動していきたい。